

授業概要

一国経済と企業の発展にとってイノベーションの実現が世界的課題となっています。そのイノベーションの担い手がアントレプレナー（起業家）です。アントレプレナーは自らのアイデアを基に企業を創設し、イノベーションの成果を事業化し社会に好影響を及ぼすことを通じて、自社の発展を目指します。通常、こうした企業は海外では Start-up、日本ではベンチャー企業、あるいはベンチャービジネス（VB）と呼ばれます。

本講義では VB の経営者にとって不可欠な「アントレプレナーシップ」をキーコンセプトとして第 1 クールでアントレプレナーとイノベーションに関連する理論、第 2 クールでベンチャーキャピタル（VC）からの資金調達（ベンチャーファイナンス）や VB の組織運営、様々な支援策等の、VB の経営上の論点について多くのケーススタディを交えて講義します。

授業計画

第 1 回	【第 1 クール(総論)】イントロダクション（内容：アントレプレナー(VB の経営者)、ベンチャービジネス (VB) とアントレプレナーシップの関係）
第 2 回	アントレプレナーシップ・オリエンテーション (EO) (成功するアントレプレナーの特徴)
第 3 回	イノベーション① (アントレプレナーに期待されるイノベーションの意義等)
第 4 回	イノベーション② (イノベーションに関する様々な理論と知的財産戦略)
第 5 回	イノベーション・エコシステム (VB を起点としてイノベーションを連続的に輩出する生態系)
第 6 回	第 1 クール (1～5 回) の総括
第 7 回	【第 2 クール (各論: VB の経営)】ベンチャーファイナンス① (間接金融・直接金融の特徴)
第 8 回	ベンチャーファイナンス② (VC 等からの直接金融の概要)
第 9 回	VB の組織運営 (アントレプレナーと実務経験が豊富な人材の組み合わせの意義・必要性等)
第 10 回	アントレプレナーのメンター (経験の浅いアントレプレナーを支援する「メンター」の重要性)
第 11 回	VB への公的支援 (日本の公的な支援機関と、多様な支援のためのプログラム)
第 12 回	VB と VC のエグジット (VC のエグジットの方法としての IPO (新規株式公開) と M&A の動向、VB 経営からエグジットしたアントレプレナーの状況)
第 13 回	アントレプレナーのケーススタディ (実在のアントレプレナーのケースからの含意)
第 14 回	日本のイノベーション・エコシステムの課題
第 15 回	全体の総括
第 16 回	学期末試験として筆記試験を行う。

到達目標

- ・ベンチャー企業 (VB) の特性、起業に必要な知識を説明できる。
- ・起業に必要で応用可能な手法および国内外の代表的起業家を理解し、具体的かつ正確に説明できる。
- ・先端的な VB 経営者に興味を持つことによって、変化に前向きに取り組むことができる。
- ・ビジネスプラン (事業計画書) の作成に必要な知識や意欲・指向性を理解し習得することを通して、ビジネス発案・展開の面白さ、難しさを実感し、実社会へ応用できる。

履修上の注意

- ・企業経営や産業・経済に関するニュースに日ごろから関心を持ってください。
- ・始業時刻には着席しておくこと。遅刻は 15 分以内の場合に認めます (15 分超の遅刻は欠席として扱います)。ただし、公共交通機関の遅延等で学証資料の提出が可能、かつ大学が把握している事情がある場合には救済措置を検討します。

予習・復習

予習：事前に配布する講義資料の熟読 (90 分)

復習：講義資料の再読と毎回の授業での課題・レポート等 (90 分)

評価方法

学期末試験 40%、毎回の授業での課題・レポート等 50%、受講態度 10%。

テキスト

教科書は使用せず、その都度資料を配布します。